

松前の 防災力

総務課危機管理係
☎ 985-4103

水防危険箇所を確認 水防パトロール

台風、ゲリラ豪雨… 水害に備える

5月26日、国土交通省・中予地方局・警察・消防署・消防団・町役場の水防活動に関する団体が、水防危険箇所を確認する「水防パトロール」を行いました。

▶なぜ、水防パトロールを行うのか

水防パトロールは、事前に水防関係団体が危険箇所を確認しておくことで、各団体の連携を深め、水防活動が必要になった場合に迅速に活動できるように行っているものです。今回パトロールを行ったのは、計9カ所（下の地図）。各所で対策について話し合い、水害に備えました。



▶新たに「堤アンダーパス（鶴吉）」を追加

今回は、3月に完成した JR 予讃線の線路下を通る「堤アンダーパス（鶴吉）」のパトロールを追加。3台備えている排水ポンプの説明や、冠水時の対応について情報共有を行いました。



▶家庭でも、もしもの時の備えを

水防活動に関する団体も対策を進めていますが、住民の皆さんが各家庭で水害に備えておくことで、水防の効果が高まり、被害を軽減させることができます。先月号の広報（23ページ）でも、各自でできる集中豪雨対策を掲載していますので、この機会に家庭で話し合ってみましょう。

水防パトロールを行った危険箇所

